

令和元年度第2回探鉱技術委員会(総会)報告

探鉱技術委員会委員長 八木 正彦

開催日時・場所

令和元年7月11日(木) 15:00~17:00

場所:石油資源開発株式会社 1901会議室

参加者

八木委員長・三石副委員長・白木副委員長・戸田・森・寺本・小林・井上・佐々木・山口・高橋・金子・池・佐藤・橋本・安河内・河合・原 各委員、以上18名

議事内容

1. 定例連絡
2. 委員会体制
 - 委員交代等: 凶師副委員長⇒退会(海外駐在に伴う)
金子委員⇒高橋委員(5/24付、(国研)産業技術総合研究所)
鈴木委員⇒石本委員(5/27付、伊藤忠石油開発(株))
3. 分科会活動状況
 - 砂岩分科会: 第1回 9月11日(水)講演会開催予定(日本堆積学会との共催)
 - 炭酸塩岩分科会: 第1回講演会企画中
 - 物探分科会: 第1回 7月16日(火)講演会開催予定
「広帯域化を主体とした陸上地震探査技術の進展と成果」
 - 新技術分科会: 第1回 5月23日 経団連ビル、石油技術協会会議室
坂田 将(産総研 地圏資源環境研究部門)
講演題目:「地下微生物が石炭をメタンに変換するポテンシャルとメカニズム」
4. 平成30年度委員会活動振り返り
5. 令和元年度委員会・分科会(研究会を含む)活動方針の承認
 - 委員会および分科会の活動を通じ、探鉱部門に係わる技術の普及と向上に努める
6. 令和元年度 春季講演会・個人講演振り返り
 - 個人講演会で学生による講演が皆無だったことに関して、原因・今後の対応策を議論
7. 令和元年度シンポジウム特集号のスケジュールと査読者選定方法の確認
8. 令和2年度シンポジウム準備のスケジュールおよびテーマの絞り込み方法の確認
 - アンケート方式にして各委員で検討
9. 令和元年度特別見学会(地質編)
 - 「南関東ガス田の天然ガスとヨウ素の生産施設、天然ガス自然湧出現場、上総層群の貯留層(タービダイト砂層と関連堆積物)および古地磁気逆転地層などの現場見学会」
 - 実施日程(11月1日(木))、ルートの紹介
10. 関連学会
 - 令和元年度日本地球惑星科学連合大会への学協会展示ブースへの出展振り返り・次年度のスケ

ジュール確認

- 日本地球惑星科学連合大会における学協会セッション開催について振り返り
- 日本地質学会第 126 年学術大会@山口大学
若手会員のための地質関連企業研究サポートへの出展について議論

11. その他

- 第 3 回微生物起源ガス研究会、テーマ「南関東ガス田」、7 月 23 日開催予定

12. 次回 令和元年度第 3 回探鉱技術委員会（運営委）

- 日程：9 月 30 日（木）、会場：JX 石油開発株

13. 話題提供

- 話題提供者：上田 良（石油資源開発株 技術本部 技術研究所）
講演題目：「CCS、EOR におけるマイクロバブル技術の実用化に向けて」
参加者 21 名

以上